

この手で、未来をロボ

2018年11月8、9日の2日間、アクセスサッポロにて、第32回ビジネスEXPO（北海道技術・ビジネス交流会）が開催されました。テーマは「アイデアを創造し、未来へ発信する」。約360社の出展及び2万人以上の来場がありました。資源リサイクルフォーラム、札幌商工会議所ものづくりフェアなどが同時開催され、特に「ロボット・IoTワールド2018」では、今回、道内初の試みとしてロボットメーカーやシステムインテグレーター（情報システムの設計・開発企業）が自慢の実機を展示しました。ものづくり現場のスマート化を「見て」「知って」「触って」相談できる商談会も行われ、本道の強みの「食」とロボットが結び付き、さらに競争力の高い食品産業が育つことが期待されます。

表紙：食品メーカーでの活用が期待されるロボット。正しくボトルを見分け、箱詰め中。

目次：4人でおしゃべり。

裏表紙：感情認識人間型ロボットペッパー君が一心に英語で対応。



北海道立総合研究機構
産業技術研究本部 工業試験場
川島 圭太 様

食産業をはじめとしたものづくり現場での生産性向上と省人化に対応するため、人協働型ロボット（表紙・左）など多様なロボットを備えた新しい施設「食品ロボット実証ラボ（ROBOLABO）」を、当試験場に開所しました。当施設で、ロボット導入の担い手を育成する実践的研修を行いますので、是非、道内企業の皆さんに活用していただきたいです。



ット・IoTワールド2018



北海道発の寒冷地仕様コンパクト電気自動車「ネイクル」を前に、それぞれの専門技術を生かして開発・製造に携わっている道内ものづくり企業チーム「ネブス」と、それを支援する中小機構北海道本部の皆さん。現在、ネイクルは好評販売中です。リース、レンタルにも対応します。

(試作車第1号は、当誌2016年4月号で紹介)